

## さまざまなジャンルとコラボ

石川さゆり、藤あや子、デーモン閣下、江守徹、山下洋輔、坂田明、東京フィルハーモニー交響楽団 etc... 共演者の顔ぶれは、そうそうたるもの。練馬のタップダンサー・宮下恵一さんとも共演!

## アンプもつないじやった...!

アンプにつないで吹くエレクトリックリコーダー。能管もアンプで試したが、能管ならではの「むら息」が出ず、お蔵入りに。

## 笛への好奇心は止まらない

これが角笛



こっちがリコーダー

小学生の時にリコーダーに出合ってから、バッハなど西洋の音楽にもめり込み、日本古典音楽の新しさを追求。海外演奏も精力的に行っています。



能管以外にも、自身で創作した田楽笛、リコーダーなど多種の笛を所有。一番古い笛は400年前のもの。

## 500本以上の笛!

## 一噌さんの演奏を聴きたい!

10月10日(月祝)、石神井松の風文化公園で開催される「みどりの風 練馬新能」に出演。その他のコンサート情報はホームページをご覧ください。  
<http://issoyukihiro.com/>

\*掲載写真は、2016年夏に地元の大泉学園ゆめりあホールで開催されたコンサートの様子



## 古い譜に隠された真実

能の楽譜は指付(指の動かし方)と、唱歌の2点1組。世襲制のため、継いだ当主が不器用で難しいから廃絶になった譜や、間違えたまま伝わった譜もあるとか!?

## 笛を選びし 笛に選ばれた男

一噌幸弘の

## キテレツ

## 笛ワールド



子どもの頃から笛が好きで好きでたまらない、能管(のうかん)からリコーダー、ホイッスルまで自在に演奏する一噌幸弘さん。幸か不幸か(笑)、能楽一噌流笛方の家に生まれたが、古典だけにはとどまらず、ジャンルも国境も飛び越えた活動を展開中!



一噌 幸弘(いっそう ゆきひろ)  
安土桃山時代からの伝統を誇る、能楽一噌流笛方・故幸政の長男。笛演奏家、作曲家。練馬区出身・在住。

血管が切れそうな形相。大昔は偉い人の前で演奏をして、間違ったら「切腹」なんてことも…。まさに命がけ!

## 見よ、5本同時吹き!!



## 一吹きに魂を込めて



真ん中の笛を譜面台に固定し、左右に2本ずつくわえ、5本を同時に操る超絶技巧!!



## トークは脱力系...

「僕の演奏をバッハが聴いたら、『バッハモン〜』って怒るでしょうね(笑)」など、おちゃめなギャグを連発。

\*能管…能や歌舞伎の囃子などで用いられる日本の横笛のひとつ